



Cisco WiFi Engage with Meraki クイック スタート ガイド

リリース 2.2

2015 年 11 月

Cisco Systems, Inc.

www.cisco.com

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は
当社の Web サイトをご覧ください。
www.cisco.com/go/offices

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証によらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco WebEx, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

Cisco WiFi Engage with Meraki クイック スタート ガイド

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



はじめに	iii
対象読者	iii
ドキュメントの構成	iii
表記法	iv
略語の一覧	iv
関連資料	iv

CHAPTER 1

はじめに	1-1
概要	1-1
プロセスフロー	1-2
システム要件	1-2

CHAPTER 2

WiFi Engage の使用	2-1
WiFi Engage 機能	2-1
ロケーション固有のエクスペリエンスゾーンの作成	2-2
Meraki の SSID の有効化	2-3
WiFi Engage へのアクセス	2-3
WiFi Engage から Meraki への接続	2-4
SSID のインポート	2-4
ロケーションの定義	2-5
ロケーションへのアクセスポイントの追加	2-5
ロケーションのマップの有効化	2-6
ポータル作成	2-7
エクスペリエンスゾーンの作成	2-7
SSID のアクティブ化	2-8
ポータルモジュール	2-8
ポータルの管理	2-9
Experience Zone Manager アプリケーションのダウンロード	2-10
WiFi Engage ユーザの管理	2-10
使用状況レポートの表示	2-11



はじめに

ここでは、『Cisco WiFi Engage with Meraki クイック スタート ガイド』の対象読者、構成、略語、および表記法について説明し、関連資料の情報を提供します。

- [対象読者、iii ページ](#)
- [ドキュメントの構成、iii ページ](#)
- [表記法、iv ページ](#)
- [略語の一覧、iv ページ](#)
- [関連資料、iv ページ](#)

対象読者

このガイドは、Meraki と WiFi Engage を使用してウェブ ポータルを作成するサイト作成者を対象としています。たとえば、エクスペリエンス ゾーンを作成して管理する技術的管理者や、ポータル コンテンツを管理するポータル管理者などを対象としています。

ドキュメントの構成

章番号	章タイトル	説明
第 1 章	はじめに	Cisco WiFi Engage のプロセス フローおよびシステム要件について説明します。
第 2 章	WiFi Engage の使用	ロケーション固有のエクスペリエンス ゾーンを作成するための WiFi Engage 機能および手順について説明します。この章では、ポータル モジュール、WiFi Engage レポート、WiFi Engage ユーザのタイプについても説明します。

表記法

表記法	説明
太字	コマンド、コマンド オプションおよびキーワードは 太字 で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で表記されています。
[オプション]> [オプション]	一連のメニュー オプションを選択するときに使用します。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このドキュメント以外の参照資料などを紹介しています。

略語の一覧

表 1 略語の一覧

略語	説明
EMSP	Enterprise Mobility Services Platform
SSID	Service Set Identifier

関連資料

- Cisco WiFi Engage with Meraki の詳細については、『Cisco WiFi Engage with Meraki クイックスタート ガイド』を参照してください。



はじめに

この章では、WiFi Engage の概要と、WiFi Engage with Meraki のプロセス フローおよびシステム要件について説明します。

- [概要、1-1 ページ](#)
- [プロセス フロー、1-2 ページ](#)
- [システム要件、1-2 ページ](#)

概要

Cisco WiFi Engage は、Cisco Enterprise Mobility Services Platform (EMSP)に含まれているアプリケーションの 1 つです。EMSP は、ビジネス要件と顧客の期待を満たすコンテキスト認識型のモバイルエクスペリエンスを迅速に提供するモバイルアプリケーションプラットフォームです。EMSP には、シスコのネットワーク インフラストラクチャ機能と企業やオープン クラウド システムを組み合わせたクラウドベースのアプリケーション サーバが含まれています。

EMSP には、WiFi Engage、EMSP App Builder、EMSP Studio、EMSP SDK、および EMSP API などの、インストールや登録が可能な複数のアプリケーションが含まれます。これらのアプリケーションを使用して、EMSP のさまざまな機能にアクセスできます。

WiFi Engage は、ロケーション固有のキャプティブ ポータルを作成するための Wi-Fi ソリューションです。WiFi Engage では、これらのポータルがエクスペリエンスゾーンに関連付けられます。エクスペリエンスゾーンとは、特定のロケーションから固有の SSID で WiFi Engage にアクセスするユーザに表示されるポータルサイトを指します。

エクスペリエンスゾーンのエンド ユーザは、空港、ショッピング モール、ホテルなどの公共の Wi-Fi ネットワークから Wi-Fi やモバイル デバイス経由でインターネットに接続するインターネット ユーザです。エクスペリエンスゾーンは、場所および SSID と呼ばれる Wi-Fi ネットワーク ID に対して作成されます。WiFi Engage を使用すると、特定のエクスペリエンスゾーン用のポータルを作成して割り当てることができます。このポータルは、訪問者が Wi-Fi 経由でインターネットにアクセスするためのゲートウェイとしても動作します。

このドキュメントでは、Meraki ネットワークで WiFi Engage を使用方法について説明します。

プロセスフロー

図 1-1 は、WiFi Engage のプロセスフローを示しています。

図 1-1 WiFi Engage のプロセスフロー



システム要件

Cisco WiFi Engage をインストールする前に、以下のシステム要件がすべて満たされていることを確認してください。

表 1-1 システム要件

項目	サポート要件
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows® XP 以降 Mac OS X 10.6 以降
ブラウザ	<p>Windows OS</p> <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer バージョン 9 以降 Firefox バージョン 30 以降 Chrome バージョン 34 以降 Safari バージョン 5.1.7 以降 <p>Mac OS</p> <ul style="list-style-type: none"> Firefox バージョン 30 以降 Chrome バージョン 34 以降 Safari バージョン 5.1.7 以降



WiFi Engage の使用

この章では、ロケーション固有のエクスペリエンスゾーンと、エクスペリエンスゾーンに表示されるポータルを強化するために利用可能なポータルモジュールを作成する方法について説明します。また、さまざまな種類の WiFi Engage ユーザおよび WiFi Engage レポートについても説明します。

- [WiFi Engage 機能、2-1 ページ](#)
- [ロケーション固有のエクスペリエンスゾーンの作成、2-2 ページ](#)
- [ポータルモジュール、2-8 ページ](#)
- [ポータルの管理、2-9 ページ](#)
- [ポータルモジュール、2-8 ページ](#)
- [WiFi Engage ユーザの管理、2-10 ページ](#)
- [使用状況レポートの表示、2-11 ページ](#)

WiFi Engage 機能

WiFi Engage を使用すると、次のことが実行できます。

- ロケーション固有のエクスペリエンスゾーンの作成
- エクスペリエンスゾーンのポータルの作成
- Experience Zone Manager アプリケーションによるポータルの編集
- 使用状況、ユーザのタイプ、エクスペリエンスゾーンのパフォーマンスの分析に役立つレポートの表示
- Facebook や Linked In など、さまざまなソーシャルネットワークサイトのユーザに関する詳細の表示

ロケーション固有のエクスペリエンスゾーンの作成

WiFi Engage ではロケーション固有のエクスペリエンスゾーンを作成できます。各エクスペリエンスゾーンでは、ビジネスに固有およびそのロケーションや領域に関連するサービスとコンテンツのメニューが訪問者に提供されます。

ABC は、世界中に数多くのホテルを持つ業界トップクラスのホテルチェーンです。このホテルでは、すべての顧客にフリー Wi-Fi が提供されています。ABC は WiFi Engage に対応しています。ホワイト氏はビジネスマンであり、出張で ABC のさまざまなホテルを使用する常連の顧客です。彼は、出張の一環としてニューヨークおよびロンドンを訪問する必要があり、それぞれの場所で ABC のホテルを予約しました。ニューヨーク滞在時、ホワイト氏は ABC の Wi-Fi を介してインターネットに接続します。すると、ニューヨークの観光地、ショッピングセンター、ローカルニュース、および地域の広告が掲載されたポータルが表示されます。ホワイト氏はロンドンに移動し、ABC の Wi-Fi にアクセスします。ここでは、ロンドンの観光地、ショッピングセンター、ローカルニュース、および地域の広告が掲載されたポータルが表示されます。同様に、顧客がさまざまな場所から同一の WiFi ID にアクセスすると、さまざまなエクスペリエンスゾーンが顧客に提供されます。



(注)

エクスペリエンスゾーンを作成するには Meraki および WiFi Engage の両方のアカウントが必要です。

ロケーション固有のエクスペリエンスゾーンを作成するには、次の手順を実行します。

1. [Meraki の SSID の有効化、2-3 ページ](#)
2. [WiFi Engage へのアクセス、2-3 ページ](#)
3. [WiFi Engage から Meraki への接続、2-4 ページ](#)
4. [SSID のインポート、2-4 ページ](#)
5. [ロケーションの定義、2-5 ページ](#)
6. [ロケーションへのアクセスポイントの追加、2-5 ページ](#)
7. [ロケーションのマップの有効化、2-6 ページ](#)
8. [ポータルの作成、2-7 ページ](#)
9. [エクスペリエンスゾーンの作成、2-7 ページ](#)
10. [SSID のアクティブ化、2-8 ページ](#)

Meraki の SSID の有効化

WiFi Engage に SSID をインポートするには、Meraki で その SSID を有効にする必要があります。



(注) Meraki は EMSP に含まれていないため、メニューパスおよびメニュー名は変更される場合があります。

Meraki で SSID を有効にするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 meraki.cisco.com に移動します。
- ステップ 2 Meraki アカウントのログイン資格情報を使用してアプリケーションにログインします。
- ステップ 3 ユーザが SSID を有効にする必要のある Meraki 組織をクリックし、必要なネットワークを選択します。
- ステップ 4 [Wireless]> [Configure]> [SSIDs] を選択します。
ネットワークで使用可能な SSID が表示されます。
- ステップ 5 SSID の名前を変更して有効にします。
- ステップ 6 [edit settings] をクリックし、[Splash] ページオプションで [click-through] ラジオボタンを選択します。



(注) SSID に RADIUS サーバ構成を適用する必要がある場合は、[click-through] の代わりに [Splash] ページオプションの RADIUS を選択し、[Host] や [Port] などの詳細を設定した RADIUS サーバを追加します。また、ラジオボタンを使用してサインオンのドロップダウンリストから RADIUS サーバを選択します。

- ステップ 7 [Save Changes] をクリックします。



(注) SSID を有効にするには、Meraki アカウントを設定する必要があります。

WiFi Engage へのアクセス

WiFi Engage ダッシュボードは emsp.cisco.com から利用可能です。シスコは、WiFi Engage の各顧客にユーザ資格情報を提供しています。

WiFi Engage にアクセスするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 emsp.cisco.com に移動し、[WiFi Engage] アイコンをクリックします。
- ステップ 2 [Sign in] ウィンドウで、WiFi Engage アカウントに提供されたユーザ資格情報を入力し、矢印ボタンをクリックしてサインインします。
WiFi Engage ダッシュボードが表示されます。

WiFi Engage から Meraki への接続

Meraki SSID のエクスペリエンスゾーンを作成するには、Meraki ネットワークからその SSID をインポートする必要があります。また、Meraki ネットワークに接続して、ロケーションにアクセスポイントを追加し、エクスペリエンスゾーンを公開する必要があります。

Meraki に接続するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで、[Account Settings] アイコンをクリックします。
 - ステップ 2** 表示される [Meraki Settings] ダイアログボックスで、[Connect account] をクリックします。
 - ステップ 3** Meraki アカウントのユーザ名とパスワードを入力し、[Connect account] をクリックします。
 - ステップ 4** 表示される [Organization] ダイアログボックスで、ログインする選択のある Meraki 組織を選択し、[Submit] をクリックします。アカウントが正常に切り替わり、メッセージが表示されます。これで、WiFi Engage が Meraki ネットワークに接続されました。
 - ステップ 5** WiFi Engage の他のアクティビティに移動するには、[Continue] をクリックします。
-



(注) [Meraki Account Settings] ボタンを使用すると、別の Meraki アカウントに切り替えることができません。



(注) 1 つの WiFi Engage アカウントで使用できる Meraki 組織は 1 つだけです。Meraki 組織の詳細については、Meraki のユーザマニュアルを参照してください。

SSID のインポート

SSID とは、Wi-Fi 経由でインターネットにアクセスするために接続するネットワーク ID のことです。Meraki の SSID のエクスペリエンスゾーンを作成するには、Meraki ネットワークからその SSID をインポートする必要があります。

Meraki ネットワークの SSID をインポートするには、meraki.cisco.com で SSID を有効にする必要があります。詳細については、「[Meraki の SSID の有効化](#)」セクション(2-3 ページ)を参照してください。有効化された SSID はインポート可能です。

SSID をインポートするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで [Configure] > [SSIDs] を選択し、[Import] をクリックします。
 - ステップ 2** [Please Select SSID To Import] ウィンドウで、インポートの必要がある SSID を選択し、[Import SSID] をクリックします。
インポートされた SSID が [SSIDs] ウィンドウに表示されます。



(注) WiFi Engage は Meraki ネットワークと同期してインポートした SSID をロードするため、SSID を表示するには、ウィンドウの更新が必要になる場合があります。

手動による SSID の設定

SSID を手動で設定するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 [SSIDs] ウィンドウで、[Configure SSIDs Manually?] リンクをクリックします。
 - ステップ 2 [Configure SSIDs Manually] タブをクリックします。
 - ステップ 3 このタブで指定されている手順に従います。
-

ロケーションの定義

WiFi Engage により、さまざまなロケーションで異なるエクスペリエンスゾーンを提供できます。ロケーションは、アクセスポイントの論理グループとして定義できます。そのため、Wi-Fi ユーザがさまざまなロケーションから同じ SSID を使用してインターネットに接続すると、設定に応じて異なるエクスペリエンスゾーンが提供されます。エクスペリエンスゾーンを作成するロケーションを定義します。

ロケーションを定義するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 [Configure] > [Locations] を選択し、[Add Location] をクリックします。
 - ステップ 2 [Add Location] ウィンドウでロケーションの名前を入力し、[Add] をクリックします。追加したロケーションが [Locations] ウィンドウに表示されます。
-

ロケーションへのアクセスポイントの追加

ロケーションのエクスペリエンスゾーンを作成すると、そのエクスペリエンスゾーンは、ロケーションに関連するすべてのアクセスポイントで利用可能です。ネットワークにすべてのアクセスポイントを追加したり、1つのロケーションに選択したアクセスポイントのみを追加したりできます。



(注) ロケーションに追加されたアクセスポイントは、別のロケーションでは使用できません。

ロケーションのアクセスポイントを追加するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 WiFi Engage ダッシュボードで、[Configure] > [Locations] を選択します。定義したロケーションが表示されます。



(注) [Search] オプションを使用してロケーションを検索できます。ロケーション名、またはそのロケーションに関連するアクセスポイントの MAC アドレスを使用してロケーションを検索できます。

-
- ステップ 2 アクセスポイントを定義するロケーションに対応した [Add access points] リンクをクリックします。

ステップ 3 [Access Points] ウィンドウで、次の手順を実行します。

- a. [Select network] ドロップダウン リストから、アクセス ポイントを追加するネットワークを選択します。
このネットワークのアクセス ポイントすべてが表示されます。
- b. ロケーションに追加するアクセス ポイントを選択します。
- c. [Add Access Points] をクリックします。
アクセス ポイントがロケーションに追加されます。追加したアクセス ポイントの総数は、[Locations] ウィンドウでロケーションごとに表示されます。



(注) [Import Template] ボタンを使用すると、1 つのロケーションにアクセス ポイントをまとめて追加できます。ネットワーク ID、ネットワーク名、およびネットワーク表示名とともにアクセス ポイントを指定する必要があります。

ロケーションのマップの有効化

WiFi Engage では、さまざまなロケーションで表示する必要があるマップを設定できます。ユーザがさまざまなロケーションから WiFi Engage にアクセスする場合、対応するマップが表示されます。

ロケーションのマップを有効にするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 WiFi Engage ダッシュボードで、[Configure] > [Maps] を選択します。WiFi Engage に追加されたすべてのロケーションが表示されます。

ステップ 2 ロケーション名をクリックして、マップを設定する必要があるロケーションを展開します。このロケーションに関連するすべてのアクセス ポイントが表示されます。



(注) ロケーションの横に矢印記号がある場合は、関連するアクセス ポイントがあります。

ステップ 3 マップを有効にする必要があるロケーションに対応した [Change Map] リンクをクリックします。

ステップ 4 [Change Map] ウィンドウで、ロケーションのマップを設定します。

Meraki、Micello マップ、または外部ソースからマップをアップロードできます。

- a. Meraki マップをアップロードするには、[Meraki Map] を選択します。Meraki のこのロケーションのマップは、その名前とともに表示されます。必要に応じて名前を編集し、[Save] をクリックします。
- b. 外部ソースからマップをアップロードするには、[Upload Map] を選択します。[Upload] ボタンを使用してマップをアップロードして、[Map Name] フィールドにマップ名を入力し、[Save] をクリックします。
- c. Micello マップからマップをアップロードするには、[Micello map] を選択します。アップロードするマップの Micello Map ID または Map URL を指定します。マップが名前とともに表示されます。必要に応じて名前を編集し、[Save] をクリックします。



(注) Micello マップをアップロードするには、Micello アカウントが必要です。Micello アカウントについては、support@micello.com にお問い合わせください。

ポータル作成

ポータルは、Wi-Fi ユーザがエクスペリエンスゾーンにログインしたときに表示されるユーザインターフェイスです。WiFi Engage から提供されるさまざまなポータルモジュールを使用して、ポータルを強化できます。

ポータルを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで、[Create] > [Portals] を選択し、[Create New] をクリックします。
- ステップ 2** ポータルのテンプレートを選択します。
ウィンドウ内で強調表示された矢印を使用して移動し、必要なテンプレートを選択します。
- ステップ 3** [Name] フィールドにポータルの名前を入力して [Create] をクリックします。
ポータルページでは、左側にポータルモジュールが、右側にポータルプレビューが表示されます。
- ステップ 4** **ポータルモジュール**を使用してポータルに機能を追加します。
- ステップ 5** [Save] をクリックして、各モジュールに加えた変更を保存します。

エクスペリエンスゾーンの作成

エクスペリエンスゾーンは、特定の SSID を使用して特定のロケーションから WiFi Engage にアクセスするユーザに表示されるポータルのことです。エクスペリエンスゾーンは、SSID、ポータル、およびロケーションに対応して作成されます。

エクスペリエンスゾーンを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで、[Configure] > [Experience Zones] を選択し、[+Experience Zone] をクリックします。
- ステップ 2** [Add Experience Zone] ウィンドウで、次の詳細を追加し、[Add Zone] をクリックします。
 - a. [SSID] ドロップダウンリストから、エクスペリエンスゾーンを定義する SSID を選択します。
 - b. [Portal] ドロップダウンリストから、エクスペリエンスゾーンに表示する必要があるポータルを選択します。
 - c. [Location area] で、エクスペリエンスゾーンをすべてのロケーションで使用する場合は [All Locations] を選択します。または、[Choose Location] を選択し、このエクスペリエンスゾーンを定義する必要があるロケーションを指定します。次に、[Add] をクリックします。
 - d. [Name] フィールドにエクスペリエンスゾーンの名前を入力し、[Add Zone] をクリックします。

SSID のアクティブ化

エクスペリエンスゾーンを作成したら、エクスペリエンスゾーンを公開するために SSID をアクティブ化する必要があります。アクセスポイントは、キャプティブポータルを使用して SSID をブロードキャストします。これにより、顧客はデバイス(モバイルやラップトップなど)の Wi-Fi を有効にし、SSID に接続してその SSID とロケーションに関連付けられたエクスペリエンスゾーンを表示できます。



(注) インポートされた SSID は、エンドユーザーにエクスペリエンスゾーンが表示されるようにアクティブ化する必要があります。SSID をアクティブ化すると、Meraki ネットワークが、エクスペリエンスゾーンの表示に必要な WiFi Engage 設定を使用して更新されます。

SSID をアクティブ化するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 WiFi Engage ダッシュボードで、[Configure] > [SSIDs] を選択します。

ステップ 2 アクティブ化する SSID に対して [Activate] をクリックします。

Meraki ネットワークで設定する必要がある SSID 更新が表示されます。

ステップ 3 [Update] をクリックします。

Meraki ネットワークは、この SSID のエクスペリエンスゾーンを表示するために必要な設定を使用して更新されます。



(注) iPhone では、接続後 3 秒以内に、エクスペリエンスゾーンのポータルに自動的に移動します。



(注) Android フォンでは、該当するエクスペリエンスゾーンのポータルを表示するには、ブラウザの起動が必要な場合があります。



(注) Meraki と同期していない WiFi Engage 設定更新がある場合は、SSID に赤色のインジケータが表示されます。同期するには [Sync link] をクリックします。同期後、インジケータは緑色に変わります。

ポータル モジュール

WiFi Engage のポータルモジュールは次のとおりです。

- **Authentication:** このモジュールを使用してポータルの認証モードを設定します。認証なし、または SMS や Social Sign In による認証を使用したポータルへのアクセスを提供できます。
- **Brand Name:** このモジュールを使用してポータルのブランド名を定義します。ブランド名をテキストやロゴのイメージで追加できます。
- **Notice:** このモジュールを使用してポータルに通知オプションを追加します。これにより、必要に応じてポータルユーザーに通知を表示できます。太字テキスト、テキスト、またはイメージ形式のテキストで通知するように設定できます。

- **Welcome Message:** このモジュールを使用してポータルにウェルカム メッセージを追加します。太字テキスト、テキスト、またはイメージ形式のテキストで通知するように設定できます。
- **Venue Map:** このモジュールを使用して、施設マップのラベルとアイコンを追加します。施設マップは、ロケーションに基づいて Meraki からポータルにアップロードされます。
- **Videos:** このモジュールを使用してポータルにビデオを追加します。また、ポータルのビデオセクションに適したキャプションとアイコンも追加できます。さらに、ビデオをアップロードするときにビデオのプレビューを表示することもできます。
- **Feedback:** このモジュールを使用してポータルのフィードバックの質問を追加します。複数の選択肢と評価の質問を追加できます。このモジュールにより、[Submit] ボタン、[Thank You] メッセージ、および [Post Submission] ボタンのラベルもカスタマイズできます。コメントを追加するためのテキスト ボックスをユーザに表示するかどうかを設定するオプションがあります。また、フィードバックの電子メール アドレスおよび件名を指定することもできます。
- **Help:** このモジュールを使用して、ユーザがサポートを求める際に連絡するヘルプ ラインの番号を追加します。ヘルプ モジュールのキャプションおよびアイコンをカスタマイズできます。
- **Get Apps:** このモジュールを使用してポータルにアプリケーションを追加します。このモジュールを使用して、各アプリケーションに適したキャプションおよびアイコンを追加できます。
- **Get Internet:** ユーザがポータルの [Get Internet] セクションから移動できる外部 URL を追加します。この URL にアクセスするには、指定された利用規約をユーザが承認する必要があります。
- **Add Menu Item:** このモジュールを使用して、ポータルにカスタマイズしたメニュー アイテムを追加します。上述したすべてのモジュールは、WiFi Engage で提供されるデフォルト モジュールです。[Add Menu Item] モジュールを使用すると、要件に応じてポータルに別のアイテムを追加できます。
- **Promos & Offers:** このモジュールを使用して、ポータルで表示するプロモーションおよび特典を追加します。[Promos & Offers] モジュールのタイトルを修正できます。モジュールごとに適したキャプションとイメージを追加し、プロモーションの詳細の URL を指定できます。プロモーションは回転式で表示されます。
- **Advertisement:** このモジュールを使用してポータルに表示する広告を管理します。それぞれの広告主ごとにポータルの広告領域を分割し、広告主ごとにアカウントおよび領域 ID を設定できます。

ポータルの管理

ポータル管理者は、モジュールのオン/オフ ボタンを切り替えることで、ポータルに追加するモジュールを表示または非表示にすることができます。

- モジュールを並び替えるには、必要な位置にモジュールをドラッグ アンド ドロップします。プレビュー セクションに変更が反映されます。
- Experience Zone Manager アプリケーションから特定のポータル モジュールを設定できます。Experience Zone Manager アプリケーションで次のモジュールを管理できます。
 - Notice
 - Welcome Message
 - Videos
 - Help



(注) デフォルトでは、上記のモジュールの [Configure In] オプションが Experience Zone Manager アプリケーションに設定されています。WiFi Engage ダッシュボードでこれらのモジュールを編集するには、このオプションを [Dashboard] に変更する必要があります。

Experience Zone Manager アプリケーションのダウンロード

iStore または Android ストアから Experience Zone Manager アプリケーションをダウンロードすることができます。また、WiFi Engage には Experience Zone Manager アプリケーションをダウンロードするオプションがあります。

WiFi Engage から Experience Zone Manager アプリケーションをダウンロードするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで、[Manage Users] > [Users] を選択します。
 - ステップ 2** ダッシュボードの右側ペインに表示される [Get Experience Zone Manager App] をクリックします。
WiFi Engage により、Experience Zone Manager アプリケーションをダウンロードできる URL がメールで送信されます。
 - ステップ 3** 電子メールに記載されたリンクからアプリケーションをダウンロードします。
-

WiFi Engage ユーザの管理

アカウント管理者であれば、WiFi Engage のユーザを追加して必要な管理権限を付与できます。WiFi Engage により、次のタイプのユーザを定義できます。

- アカウント管理者: このユーザには WiFi Engage ダッシュボードの完全な管理権限があります。
- 管理者: このユーザにはユーザ管理以外のすべての権限があります。たとえば、管理者は、WiFi Engage に参加するようにユーザを招待することはできません。
- ポータルデザイナー: このユーザには WiFi Engage のポータル機能へのアクセス権だけがあります。
- エクスペリエンスゾーンマネージャ: このユーザは Experience Zone Manager アプリケーションを使用して [Notice]、[Welcome Message]、[Videos]、および [Help] などのポータルモジュールにのみアクセスします。このユーザは、WiFi Engage ダッシュボードにはアクセスできません。
- AccessCode マネージャ: このユーザはエクスペリエンスゾーンのアクセスコードを作成および管理するためにのみアクセスできます。

WiFi Engage ユーザを追加するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで、[Manage Users] > [Users] を選択します。
 - ステップ 2** [Invite User] をクリックします。

- ステップ 3** [Invite User] ウィンドウで、次の詳細を入力します。
- a. [Email Address] フィールドで、追加するユーザの電子メール アドレスを入力します。
 - a. [Access] ドロップダウン リストから、このユーザに指定するアクセス タイプを選択します。
- ステップ 4** [Send Invite] をクリックします。



(注) [Invite User] ボタンは、アカウント管理者ユーザのみが使用できます。

使用状況レポートの表示

WiFi Engage により、WiFi Engage の使用状況の分析に役立つレポートと、さまざまなモジュールやユーザ タイプなどの使用率を表示できます。

エンゲージメント レポート

エンゲージメント レポートは、訪問者が特定の期間にエクスペリエンスゾーンに関与する割合を示したものです。訪問者とは高い信号強度で1分以上インターネットに接続されたデバイスのことです。関与とはエクスペリエンスゾーンにログインしたデバイスのことです。このレポートを使用すると、WiFi Engage の使用状況を分析できます。

エンゲージメント レポートを表示するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで、[Monitor] > [Engagement Report] を選択します。
- ステップ 2** [Select an Experience Zone] ドロップダウン リストから、レポートを表示する必要があるエクスペリエンスゾーンを選択します。
- ステップ 3** [adjacent] ドロップダウン リストから、レポートを表示する期間を選択します。そのエクスペリエンスゾーンの、指定した期間のレポートが表示されます。



(注) CMX 分析および通知サーバを指すコールバック URL が設定されていないネットワークのレポートを表示すると、ダイアログ ボックスが表示され、そのネットワークのパラメータを自動設定するかどうかを指定する必要があります。自動設定を選択すると、レポートが表示されます。



(注) 分析プロパティは、[Configure Analytics for the Meraki] タブに表示される指示に従って手動で設定することができます。[SSIDs] ウィンドウに表示される「Configure SSIDs Manually?」リンクからこのタブにアクセスできます。



(注) [Export PDF] ボタンを使用すると、レポートを PDF でエクスポートできます。

